



平成17年度(財)8020推進財団助成事業 報告書

# 「お口の健康づくりプロジェクト」2005

## 目 次

I	はじめに	2
II	事業の概要	3
III	「お口の健康づくり」プロジェクト2005報告	
1	泉丘校区「みんなでわっしょい文化祭」 ～あなたの歯みがき大丈夫?～	5
2	「野田校区文化祭」 ～『愛口会』地域の歯医者さんと一緒に啓発事業!～	6
3	「緑地ワークショップ」 ～校区の仲間です始めた「お口」活動!～	7
4	「よつといで未来っ子」 ～子どもと保護者を対象にした校区連携の啓発事業～	10
5	推進員全員歯科健診キャンペーン ～「行ってきました」受診体験アンケート報告～	11
6	市民歯科健診店頭PR活動 ～買い物中のご近所さんに情報発信～	14
7	お口の健康づくりフォーラム2006	15
IV	お口の健康づくりグループからの提言	19
V	新たなステップへの挑戦	22

豊中市健康づくり推進員会

豊中市健康づくり推進員会は、豊中市が実施している市民健診や健康教室事業を市民の立場から実施協力する団体として、昭和 61 年に発足し、約 300 人の推進員がみんなで楽しい健康づくりをモットーに活動を続けています。

活動の主な内容は、市が行っている市民健診や健康教室の実施協力のほか、年 1 回のウォーキングイベント「健康づくりふれいあいウォーク」や、あらゆる健康課題をテーマに「市民健康づくりフォーラム」などを開催しています。

また市民健康づくり計画「健康とよなか 21(\*)」の策定や中間評価を行うにあたり、市民の健康状態を把握するためのアンケート調査にも協力してきました。

その計画の中では、健康課題の一つとして「歯の健康」をとりあげ歯科健診の受診率の向上などを目標値として掲げています。

しかし、お口の健康に関心を持つ市民はまだまだ少なく、豊中市の市民歯科健診の受診率は平成 15 年度（2003 年度）で 2.1%でした。

そこで、豊中市健康づくり推進員会では平成 16 年度（2004 年）に「お口の健康づくり」プロジェクト ワークショップ事業を開催。3 つの目標を掲げ、関係団体や事業者の協力を得て、市民歯科健診の啓発ビデオの作成や地域の文化祭に「お口のコーナー」を設けるなど目標の達成に向けた事業を、自ら企画し実行してきました。

2 年目となる 17 年度（2005 年）は、「健康づくり運動の継続」と「課題の解決」に向けて、その校区や地域の特色を生かした企画に取り組み、新しい試みにも挑戦しました。そしてプロジェクトの 3 つの目標に向けて、さらなる「お口の健康づくり」の推進を図ります。

---

(\*) 健康とよなか 21 平成 22 年度（2010 年度）を目標にした豊中市の健康づくり運動計画。生活習慣の改善や健康づくりに必要な環境整備を関係機関、市民団体などと連携して推進することにより、市民一人ひとりの自発的な健康づくりを支援する。栄養・食生活、運動・身体活動、休養・心の健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、健康診査と事後指導の 7 分野を設定している。豊中保健所と協力して平成 13 年（2001 年）3 月に計画書策定、平成 17 年（2005 年）3 月に中間評価報告書を策定。

## II

## 事業の概要

### 1 豊中市の概要（2006.2.1現在）

人口 386,981人（男性 186,476人・女性 200,505人）  
世帯数 161,555世帯

#### 市民歯科健診の実施状況

	平成15年度	平成18年度
対象	40歳以上の市民	30歳以上の市民
負担金	無料	200円
市委託料	4,560円	4,160円
受診率	2.1%	1.5%
受診数	4,099人	3,856人

2 事業名 健康とよなか21「お口の健康づくり」プロジェクト2005

3 目的 ①市民の歯科健診の受診率を上げる  
②歯科医による検診やアドバイスで、正しいお口のケアの知識を身につける  
③市民と歯科医が課題を共有し、かかりつけ歯科医をもつ人の増加をめざす

4 主催 豊中市健康づくり推進員会

5 後援 (財)8020推進財団、(社)豊中市歯科医師会(\*)、(社)大阪府歯科技工士会(\*\*)、(社)大阪府歯科衛生士会(\*\*\*)、サンスター㈱、豊中市

6 期間 平成17年(2005年)4月1日(金)  
～平成18年(2006年)3月31日(金)

7 参加者 「お口の健康づくり」プロジェクトグループメンバー  
豊中市健康づくり推進員 13人

(\*) (社)豊中市歯科医師会 沢田好章会長、会員243人<平成17年(2005年)12月1日現在>。

(\*\*) (社)大阪歯科技工士会豊中支部 高橋康一支部長、会員105人<平成18年(2006年)3月末日現在>

(\*\*\*) (社)大阪府歯科衛生士会 小高則子会長、会員1,010人<平成18年(2006年)3月末日現在>。

## 8 内 容

担当校区	活 動	とき・ところ
(1) 泉丘校区	「みんなでわっしょい文化祭」 ～あなたの歯みがき大丈夫?～	平成 17 年 (2005 年) 10 月 23 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時 泉丘小学校
(2) 窪内・ 窪内西・ 野田校区	「野田校区文化祭」 『愛口会』 ～地域の歯医者さんと 一緒に啓発事業!～	平成 17 年 (2005 年) 11 月 6 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時 野田小学校
(3) 緑地校区	「緑地ワークショップ」 ～校区の仲間で始めた 「お口」活動!～	平成 17 年 (2005 年) 7～9 月 (全 3 回) 午後 1 時半～3 時半 長興寺会館
	①「8020表彰」 地元の歯医者さんからコメント	平成 17 年 (2005 年) 9 月 18 日 (日) 午後 1 時 緑地小学校
	②「校区体育祭」で 「お口」活動アナウンス	平成 17 年 (2005 年) 10 月 9 日 (日) 緑地小学校
	③「緑地校区文化祭」 ～お口の中をのぞいてみよう!～	平成 17 年 (2005 年) 11 月 6 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時 緑地小学校
(4) 窪内・泉丘・ 窪内西・緑地 校区	「よっといで未来っ子」 ～子どもと保護者を対象にした 校区連携の啓発事業～	平成 17 年 (2005 年) 11 月 26 日 (土) 午後 2 時～3 時半 市民会館
(5) 推進員会 全校区	推進員全員歯科健診キャンペーン ～「行ってきました」 受診体験アンケート報告～	平成 17 年 (2005 年) 10 月～ 平成 18 年 (2006 年) 2 月
(6) ※窪内・ 窪内西・ 野田校区	市民歯科健診店頭PR活動 ～買い物中のご近所さんに 情報発信～	平成 18 年 (2006 年) 2 月 24 日 (金) より 市内協力スーパーにてスタート ※校区推進員の活動 同 24 日 午前 10 時～午後 3 時・ダイエー庄内店
(7) 推進員会 全校区	健康とよなか 21 「お口の健康づくり」フォーラム 2006	平成 18 年 (2006 年) 3 月 4 日 (土) 午後 1 時～4 時 すてっぷホール

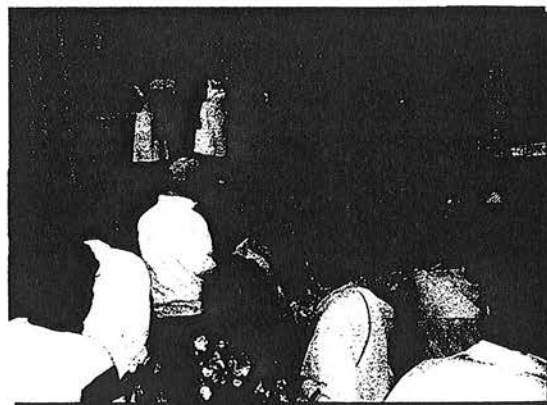
### Ⅲ 「お口の健康づくり」プロジェクト2005

#### 1 「みんなでわっしょい文化祭」～あなたの歯みがき大丈夫？～

泉丘校区は、多くの地域住民が集まる文化祭会場内で、大人から子どもまで参加してもらえるコーナーづくりをめざし、「あなたの歯みがき大丈夫」をテーマに取り組みました。

#### 担当校区：泉丘校区

- 1) と き 平成17年(2005年)10月23日(土)午前10時～午後3時
- 2) と ころ 泉丘校区「みんなでわっしょい文化祭」(主催：泉丘公民分館)  
泉丘小学校
- 3) 内 容 ① 啓発パネル6枚展示  
② お口のケアグッズ展示  
③ 「あなたの歯みがき大丈夫？」〇×クイズ大会  
④ 歯科衛生士の歯みがき相談コーナー  
⑤ デンタルリンス、歯ブラシプレゼント
- 4) 協力者 泉丘校区公民分館  
(社)豊中市歯科医師会  
(社)大阪府歯科衛生士会  
サンスター(株)
- 5) 参加者数 文化祭全体 のべ2000人  
クイズ大会 約80人



楽しそうにクイズに挑戦している参加者、たくさん親子連れが訪れた相談コーナー、パネルを熱心に見入る人たちの姿、初めての試みでしたが文化祭の中で、まずはその役割を果たせたようです。

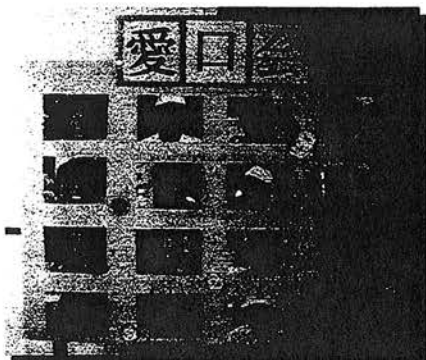
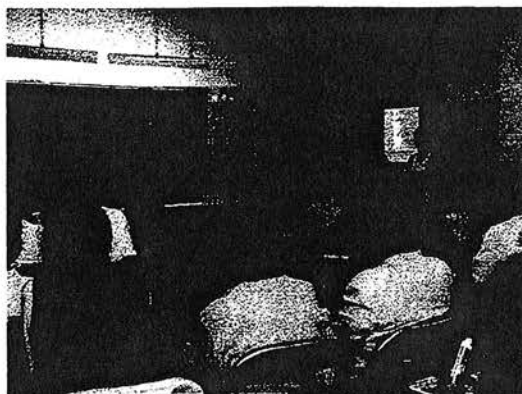
『「お口の健康づくり」についての正しい知識を身につけること』というプロジェクトの目標に、楽しみながら取り組めたと思います。

## 2 「野田文化祭」 ～『愛口会』地域の歯医者さんと一緒に啓発事業！～

庄内西・庄内・野田校区は3校区合同グループ『愛口会』として、野田文化祭での「お口」プロジェクト活動に取り組みました。

### 担当校区：庄内西・庄内・野田校区

- 1) と き 平成 17 年 (2005 年) 11 月 6 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時
- 2) と ころ 野田校区文化祭 (主催：野田校区公民分館)  
野田小学校
- 3) 内 容 ①歯医者さんと推進員のミニトーク：午後 1 時～  
②歯みがきミニ講習  
③「いい歯・いい笑顔」の写真展 (参加地域住民 40 人)  
④お口啓発ポスター展示  
⑤3 校区推進員 PR ポスター展示  
⑥デンタルケアグッズ展示  
⑦口腔内観察コーナー (口腔内用カメラ使用)  
⑧市民歯科健診紹介ビデオ放映  
⑨歯の小冊子、歯ブラシ、キシリトールガムプレゼント
- 4) 協力者 野田校区公民分館  
(社) 豊中市歯科医師会  
(社) 大阪府歯科衛生士会  
サンスター (株)  
(株) オーラルケア
- 5) 参加者数 文化祭全体：約 400 人  
お口トーク：約 40 人



校区の体育祭に訪れていた地域住民の協力を得て、文化祭では「いい歯・いい笑顔」写真展にたくさんの素敵な笑顔が並びました。

また出演いただく地元の歯医者さんと、その内容から打ち合わせをして決めていった「お口トーク」。

「歯医者さんを身近に感じることができ、親しみをもてた。」「中断していた通院を、また再開しようと思う。」など、参加者だけでなく推進員の中からも喜びの声が聞けました。

### 3 「緑地ワークショップ」 ～校区の仲間で始めた「お口」活動！～

他の住民団体と共同で様々な活動をしている緑地校区は、その特色を生かし、各団体のリーダーにも呼びかけて「お口の健康づくり」ワークショップを実施しました。

#### 担当校区：緑地校区

- 1) と き 平成 17 年（2005 年）7 月～9 月（計 3 回）午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- 2) と ころ 「緑地ワークショップ」（主催：緑地校区推進委員会）  
長興寺会館
- 3) 内 容 第 1 回 疑問、問題点、課題抽出  
第 2 回 歯科医のパネルディスカッション  
第 3 回 感想と課題に対しての活動計画作成
- 4) 協力者 （社）豊中市歯科医師会  
サンスター（株）
- 5) 参加者数 18 人  
(内訳) 地域住民 4 人  
老人会 2 人  
公民分館 1 人  
地区福祉委員 5 人  
校区推進員 6 人



#### 第3回 感想と活動計画の日・・・

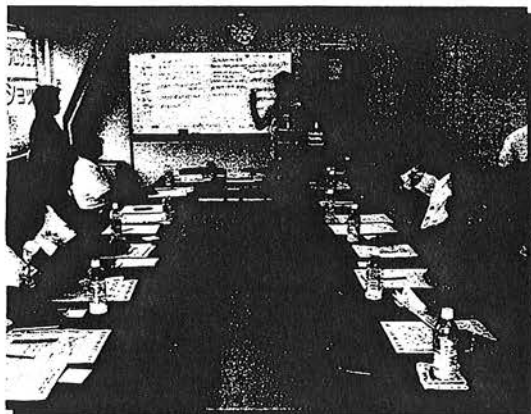
「こんないい話、私らだけで聞いて終わりにさせるのは“もったいない”」

という参加者の声で、知域のみんなにも伝えていこうとアイデアを出しあいます。

「各自の身近な人や、参加しているグループで話題提供しては？」

「各住民団体主催の地域の行事で、みんなで協力して何かしてみよう。」

ここから地域での活動が始まりました。



## 1. 「8020表彰」

地元の歯医者さんから  
8020コメント

1) と き 平成17年(2005年)9月18日(日)  
午後1時

2) ところ 「8020表彰」

(主催: (社) 豊中市歯科医師会)

緑地地区「敬老のつどい」(主催: 地区福祉委員会)

緑地小学校

3) 内 容 「お口の健康づくり」プロジェクト活動と「8020運動」について表彰式当日挨拶として担当する地元の歯医者さんからコメント。  
このことについて校区推進員より事前に依頼・打合せを行う。

4) 協力者 地区福祉委員会  
(社) 豊中市歯科医師会

5) 参加者 敬老のつどい: 約500人



## 2. 「緑地校区体育祭」

お口の健康づくり活動  
アナウンス

1) と き 平成17年(2005年)10月9日(日)

2) ところ 「緑地校区体育祭」

(主催: 校区公民分館)

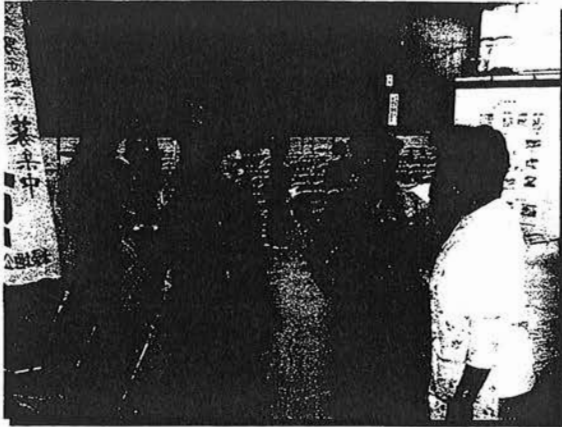
緑地小学校

3) 内 容 「文化祭」お口コーナー実施の案内や地区のお口の健康づくりに関する活動を推進員よりアナウンス

4) 協力者 公民分館

5) 参加者 体育祭: 約1000人





近所の友達に「こんな活動に参加して  
るよ」と話題にすることで健康づくりの  
推進につながります。

また、地域に住む子どもからお年寄  
りまで幅広く考えていながら校区の  
行事の中で色々な形でのPRの方法が  
見えてきました。

1) と き 平成17年(2005年)11月6日(日)

2) ところ 「緑地校区文化祭」  
(主催: 校区公民分館)  
緑地小学校

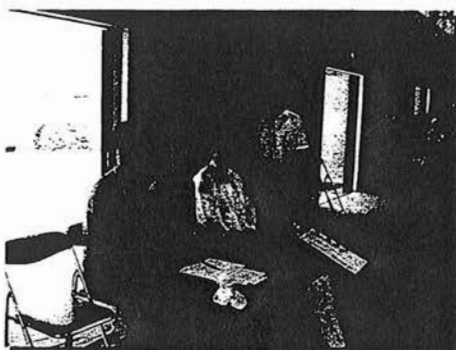
3) 内 容 ①手作り啓発ポスター  
②口腔内観察コーナー(口腔内用カメラ使用)  
③市民歯科健診案内

4) 協力者 公民分館  
サンスター(株)

5) 参加者 文化祭: 約1500人  
口腔内観察コーナー: 62人

3. 「緑地校区文化祭」

～お口の中を  
のぞいてみよう!～



それにはまず校区健康づくり推進員が  
自覚と意識をもって、地域の中でその存  
在をアピールしていくことが大事だとい  
うこともわかりました。

これからも校区の仲間と協力しながら  
地域住民のために健康づくりを推進して  
いきたいと思えます。

#### 4 「よっといで未来っ子」～子どもと保護者を対象にした地域連携の啓発事業～

豊中市民生・児童委員協議会連合会主催で毎年行われている「よっといで未来っ子」は、市内全域から幼児とその保護者が訪れる「遊び」をテーマにしたイベントです。

そこに「お口の健康づくり」の要素をいかに盛り込むか。推進員会としては初めての試みです。6校区合同で取り組みました。

担当校区：上野、少路、克明、泉丘、西丘、緑地校区

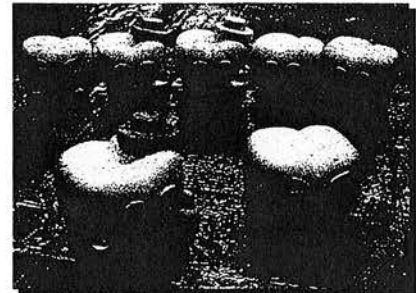
1) と き 平成17年(2005年)11月26日(土)午後2時～3時30分

2) ところ 市民会館

- 3) 内 容
- ① 歯科医師の相談コーナー
  - ② 歯科衛生士の歯みがき指導
  - ③ 着ぐるみペンギンと推進員のクイズ
  - ④ 歯科技工士の歯のキャラクター石膏模型のお話
  - ⑤ 石膏模型プレゼントと色付けコーナーなど
  - ⑥ お口啓発ポスター展示

4) 協力者 (社)豊中市歯科医師会  
(社)大阪府歯科技工士会豊中支部  
(社)大阪府歯科衛生士会  
サンスター(株)

5) 参加者 よっといで未来っ子：約400人  
コーナー参加：約150人



遊びながら「お口の健康づくり」に関心を持ってもらおうという今回の取り組みでは、若い保護者がクイズの答えを子どもと一緒に一生懸命考えている姿がとても印象的でした。

推進員会ではこれまで高い年齢層への働きかけが主でしたが、子どもや若い世代からの健康づくりもとても大切です。

今後は推進員会全体で、継続した取り組みにできればと思います。

## 5 推進員全員歯科健診受診キャンペーン～「行ってきました」受診体験報告～

健診を推進する団体として、まずは私たちから市民歯科健診を受診し市民に広めていこう、という目的でこのキャンペーンを実施しました。

- 1) と き 平成 17 年 (2005 年) 10 月～平成 18 年 (2006 年) 2 月
- 2) 対 象 推進員 309 人
- 3) 内 容 推進員が率先して市民歯科健診を受け、その感想をアンケートでまとめ、歯科健診の情報発信に生かしていく。
- 4) アンケート回収数 64 枚 (回収率 21.1%)

### 推進員アンケートの結果

市民歯科健診を知っていたかどうかきいてみました。

その結果 89.1%の推進員が知っていたと答えました。

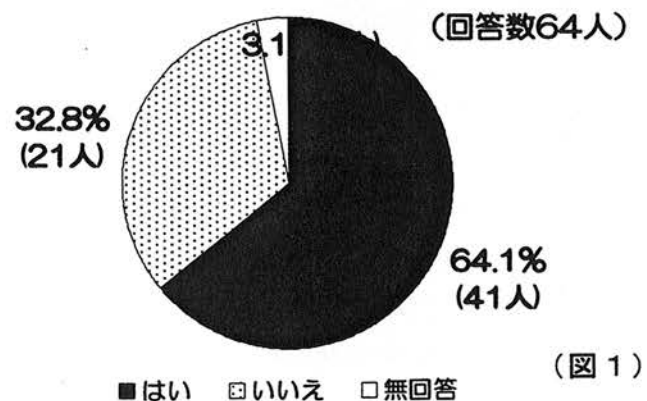
次に、歯科健診受診状況についてききました。

過去 1 年間に歯科健診を受けたことがあると答えた推進員は 64.1%でした。(図 1) 一方、豊中市民の意識調査 (2005 年) で同じ質問をしたところ、受けたと答えた人は 30.4%でした。

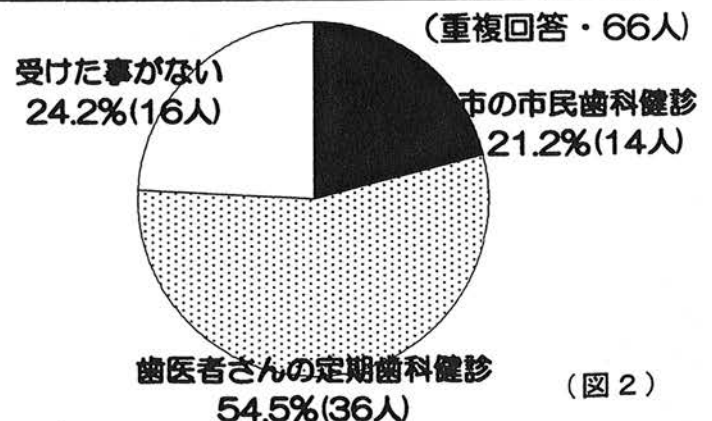
また、過去の歯科健診経験についてきいてみました。(図 2)

全体の 75.7%の推進員が過去に歯科健診を受けた経験があると答えています。

### 過去1年間に歯医者さんで歯科健診を受けた



### 過去の歯科健診の経験



## 市民歯科健診のイメージ

### 受診する前

- ・ 市民歯科健診ってどんなもの？いつ受けるもの？
- ・ 毎日歯をみがいてるし、痛くないので受ける必要がない。
- ・ 歯医者さんは「こわい」「痛い目にあう」というイメージがある。
- ・ 治療に時間がかかるから面倒だ。
- ・ 初めてなので少し不安。
- ・ 市民歯科健診と治療の違いがわからない。
- ・ 自分の歯の状態を知ることが出来るので、健診は早期治療に効果的。



### 受診した後

- ・ 案外スムーズに受診できた。
- ・ とても気持ちの良い歯医者さんだった。
- ・ 虫歯が早く見つかって良かった。
- ・ 健診後も定期的にスケーリングに行こうと思う。
- ・ 健診結果にショックを受けた。もっと早く受ければ良かったと思う。



今回、まだ市民歯科健診自体を知らない推進員がいたことがわかりました。また歯への正しい知識が不足していることも原因してか、歯医者さんに対するの誤解や悪いイメージが先行し、受診から足が遠のいている様子が伺えました。

しかし今回キャンペーンを実施したことにより、健診受診後、その悪いイメージも変わり、今後お口の健康づくりに歯科健診を利用しようと、ほとんどの推進員が思ったようでした。

## アンケートから見えてきたこと～皆様へ～

今回の推進員のアンケート結果は、豊中市民の思いを表しているとも言えるのではないのでしょうか？ このような疑問や不安な気持ちを同じ市民であるからこそ理解できる推進員ならではの活動を今後も続けていきたいと思えます。

そして身体がそうであるようにお口の健康づくりにも健診は欠かせないものであるということを伝えていきたいと思えます。

### 歯医者さんへ

治療の内容や期間、費用のこと、歯のみがき方のこと、予防のこと… 私たちはもっと自分のお口のことを知りたいと思っています。

それから…たまにはマスクをとってお顔を見せてください！

### 推進員さんへ

知らない人が多い歯科健診のことを、まずは私達が理解しましょう。

そして今後も色々な方法で正しい情報を発信しPRしていきましょう

### 市民の皆さんへ

お口の正しい知識を増やしましょう。そしてもっと自分のお口のことを知きましょう。

そのために強い見方になってくれる、かかりつけの歯医者さんを見つけてください。

そして健診を受けていきましょう。

ともに手をつなぎ健康の輪を広げましょう。

みんなのために、あなたとあなたの大切な人のために。

## 6 市民歯科健診店頭PR活動～買い物中のご近所さんに情報発信～

市内スーパーのご協力で市民歯科健診と推進員会PRボードを歯ブラシコーナーに設置しました。

- 1) と き 平成 18 年 (2006 年) 2 月 24 日 (金) よりスタート
- 2) 協力店舗 ダイエー (庄内店)  
ニッショーストア (豊中店、豊中駅前店、蛭池店、服部店、服部西店)
- 3) 内 容 歯ブラシコーナーへの啓発物の設置  
「市民歯科健診の案内」「かかりつけ歯科医の説明」ボード  
「市民歯科健診取り扱い歯科医院一覧」リーフレット

- 4) 協 力 ダイエー  
ニッショーストア  
(社)豊中市歯科医師会  
サンスター (株)



### 推進員による店頭PR活動

初日、ダイエー庄内店では、校区推進員が午前10時から午後3時まで交代で立ち市民歯科健診案内リーフレットを配布しました。

買い物中のご近所さんがたくさん訪れ、お口的话题で盛り上がり、健康相談をもちかける人までいました。

- 1) 目的 (財) 8020 推進財団より、2年に渡り歯科保健活動事業助成を受け、実施してきた「お口の健康づくり」プロジェクト事業について、今年度の活動と2年間のまとめについて報告します。  
また、そのことを通じて関係者や市民に「お口の健康づくり」を普及啓発し歯科保健の向上を図ります。
- 2) 後援 健康おおさか21推進府民会議、大阪府、豊中保健所  
(社) 豊中市歯科医師会、(社) 大阪府歯科技工士会豊中支部、  
(社) 大阪府歯科衛生士会、(財) 8020 推進財団  
健康日本21推進フォーラム、豊中市
- 3) 協賛 サンスター(株)
- 4) と き 平成18年(2006年)3月4日(土)13時~16時
- 5) ところ とよなか男女共同参画推進センター「すてっぷ」ホール(定員150名)
- 6) 対象 市民、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、事業者、自治体、関係機関、関係団体等
- 7) 参加費 無料

ギャラリーにはこの1年間の活動の様子を伝えるパネルなどを展示しました。



訪れた人に展示物の説明をしながら、お口の健康づくりの大切さを伝えていきました。

## プログラム

### 開会宣言

#### 第1部

#### 活動報告

- 1 泉丘  
みんなでわっしょい文化祭
- 2 野田文化祭
- 3 緑地ワークショップ
- 4 よっといで未来っ子



泉丘みんなでわっしょい文化祭  
(社)大阪府歯科衛生士会  
豊中支部長 中井真三子さん



開会宣言

活動報告にあたりご協力  
いただいた関係団体のみ  
なさんにもご登場いた  
だきました。







野田文化祭

(社) 豊中市歯科医師会

大倉由嗣さん



よっといで未来っ子

(社) 大阪府歯科技工士会

豊中支部長 高橋康一さん



市民歯科健診店頭PR活動報告

サンスター(株)

村上悟郎さん



総括コメント

(社) 豊中市歯科医師会

副会長 宮田敏生さん



### 修了書授与式

**お口の健康づくり宣言**

私たちは、お口の健康が自分自身の人生を豊かにし、それを地域の人たちと共有することによって、健康づくり運動が推進できることを実感しました。私たちは「お口の健康づくり」運動の輪を広げ、「健康とよなか21」の実現をめざし、みなさんとともに行動することを決意します。

### お口の健康づくり宣言

### プログラム

#### 第 2 部

- ・ 推進員全員歯科健診  
    キャンペーン報告
- ・ 市民歯科健診店頭PR活動報告
- ・ お口グループからの提言
- ・ 総括コメント
- ・ 修了証授与式
- ・ お口の健康づくり宣言

閉会

## IV お口の健康づくりグループからの提言

### 3つの目標

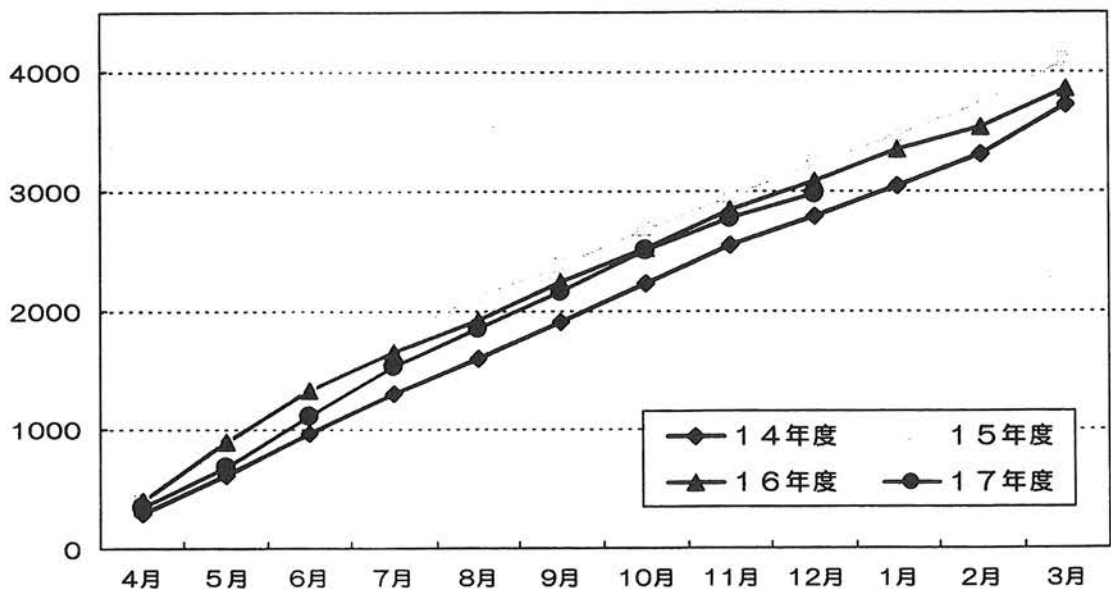
#### ① 市民歯科健診の受診率をあげる

今回も市民歯科健診の受診率をあげることは出来ませんでした。

しかし、地域によっては少しずつ市民歯科健診で来院する人が増えてきたという歯医者さんもありました。また、気になっていた歯の問題や中断していた歯科治療のために受診する気になったという市民の声もありました。

健診率にすぐ結びつくわけではないかもしれませんが、様々な形で活動を続けていくことで、市民に徐々に浸透していき、その結果、受診率の向上へとつながるのではないのでしょうか。

市民歯科健診受診数の推移(累計/人)



#### ② 歯科医による健診やアドバイスで、正しいお口のケアや知識を身につける

今年度は、ワークショップや文化祭、イベント、店頭での啓発活動など、準備段階より様々な関係団体やご近所さんと協力し、取り組んでいくことができました。その結果、準備や当日までの過程がオーラルヘルスコミュニケーションの場となり、推進員活動の意義とお口の大切さについての理解を示す人が多くみられました。

このことが根つき芽を出すまでには、まだしばらく時間がかかりそうですが、正しい知識の普及に、推進員が大きな役割を担っていると言えるのではないのでしょうか。

### ③ 市民と歯科医が課題を共有し、かかりつけ歯科医をもつ人の増加をめざす

昨年度からスタートしたワークショップでは、歯科医とのディスカッションの時間を設け、まずは参加者と歯医者さんとの距離感をなくすことを試みました。

そして今年度は、活動の企画準備段階から地域の歯医者さんが一緒に打合せを行なうなど、課題を共有し解決に向けて知恵を出し合う協働関係をつくることができました。

その結果、活動にかかわった多くの推進員が歯医者さんに親しみを感じることができ、疑問や不安を解決していきました。また、歯科健診の意義を理解し、かかりつけ歯科医のもとで健診を受けはじめました。

このように歯医者さんと身近な関係を築くことが、かかりつけ歯科医をもち自分のお口の健康を守る人を増やすことにつながっていくと思います。

#### 4つの課題と提案

今年度も、3つの目標と昨年度からの課題解決に向けて、お口グループが中心となり企画・検討・活動を行ってきました。しかし、市民歯科健診の受診率など目に見える数字での結果を得ることはできませんでした。やはり達成のためには時間をかけて地道に取り組む必要があります。

そしてさらに解決が必要な推進委員会としての課題も新たに見えてきました。それらを含め、今後の課題、そして取り組みに対する提案を4つにまとめました。

- ① 活動の継続のために、引き続き「お口の健康づくり」グループをもつことを提案します。
- ② 残念ながら今年度もお口グループメンバーの校区だけの活動にとどまりました。全校区への取り組みに広げる方法についてはさらに検討が必要です。  
しかしその中でも希望校区でのモデル的取り組みを実施することができました。今後はこのような活動を会員相互に共有し、意識を高めあう機会をもつことを提案します。
- ③ 地域や他の市民団体の間で、健康づくり推進委員会の認知度が低く、また役割や活動の意義が理解されておらず、校区により会の活動に差が出る状況がありました。  
今後は健康づくりの取り組みとともに、健康づくり推進委員会を地域に広くPRしていくことを提案します。

今年度は企画の段階から関係団体に積極的に働きかけ、その中で推進委員会への理解を得て、新しい展開につなげていくことができました。今後も各団体が手をつなぎ「協働」を意識した活動を進めていくことを提案します。

- ① 推進委員会が地域の「健康づくり」リーダーとなることをめざすため、まず推進員への啓発と知識の向上に取り組むことを提案します。
- ② また8020達成に向けては、より若い層や子どもへの働きかけも今後は重要となってきます。自ら行動し生涯にわたり健康な生活を営むことのできる市民を育むために、今後は若い世代や子どもを対象とした活動にも取り組んでいくことを提案します。

地域でともにくらす身近なご近所さんと、日々の生活の中で、あるいは推進員活動の中で、ヘルスコミュニケーションでつながることが、地域に根ざした健康づくり運動であると考えます。

市民である推進員だからこそ可能な今回のような活動を、まずは「継続」していくことを提案します。

今年度も関係諸団体のご支援・ご協力によりワークショップをはじめ、イベントコーナー活動やスーパーでの啓発活動など初めての試みにもチャレンジすることができました。まだまだ結果を出すにはいたりませんでした。健康づくりの推進に様々な可能性を見出すことができたことはこの1年で得た貴重な成果だと思えます。

昨年度末、活動を終えたとき、参加したメンバーは皆こう言いました。

「このまま終わるのはもったいない。」

それは一緒に活動を続けてきた推進員とその仲間への思い、そして自分達のくらす豊中のまちへの思いから出た言葉かもしれません。

今年23人からバトンタッチされた13人のお口プロジェクトグループは、出た芽を確実に育て、推進員会の有りようにまで言及するにいたりました。多くの健康課題を抱えた豊中市民のために私たちの役割を見つめなおしたい、会内部に向けてのエールとも言える提案がなされました。平成18年で20年目を迎える中、ここ数年で示されるであろう国の新しい健康づくり計画とともに、推進員会も変革の時を向かえているのではないかと思えます。

「健康を自らの資源として、豊かな人生を送りたい」そんな誰もがもつ市民の思いをこれからも応援したい。そのために豊中市健康づくり推進員会は次の新たなステップに挑戦します。

最後になりましたが、2年間をともに歩み支えていただいた(社)豊中市歯科医師会の先生方、(社)大阪歯科技工士会豊中支部、(社)大阪府歯科衛生士会、サンスター(株)、その他関係団体の皆様に厚くお礼申し上げます。